

2023年度 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	有機EL材料(輸送材料、発光材料、表面保護材料)、PCR診断キット用材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	先端材料	カラーフィルター用染料、近赤外吸収材料、有機太陽電池材料
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬・農業資材	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

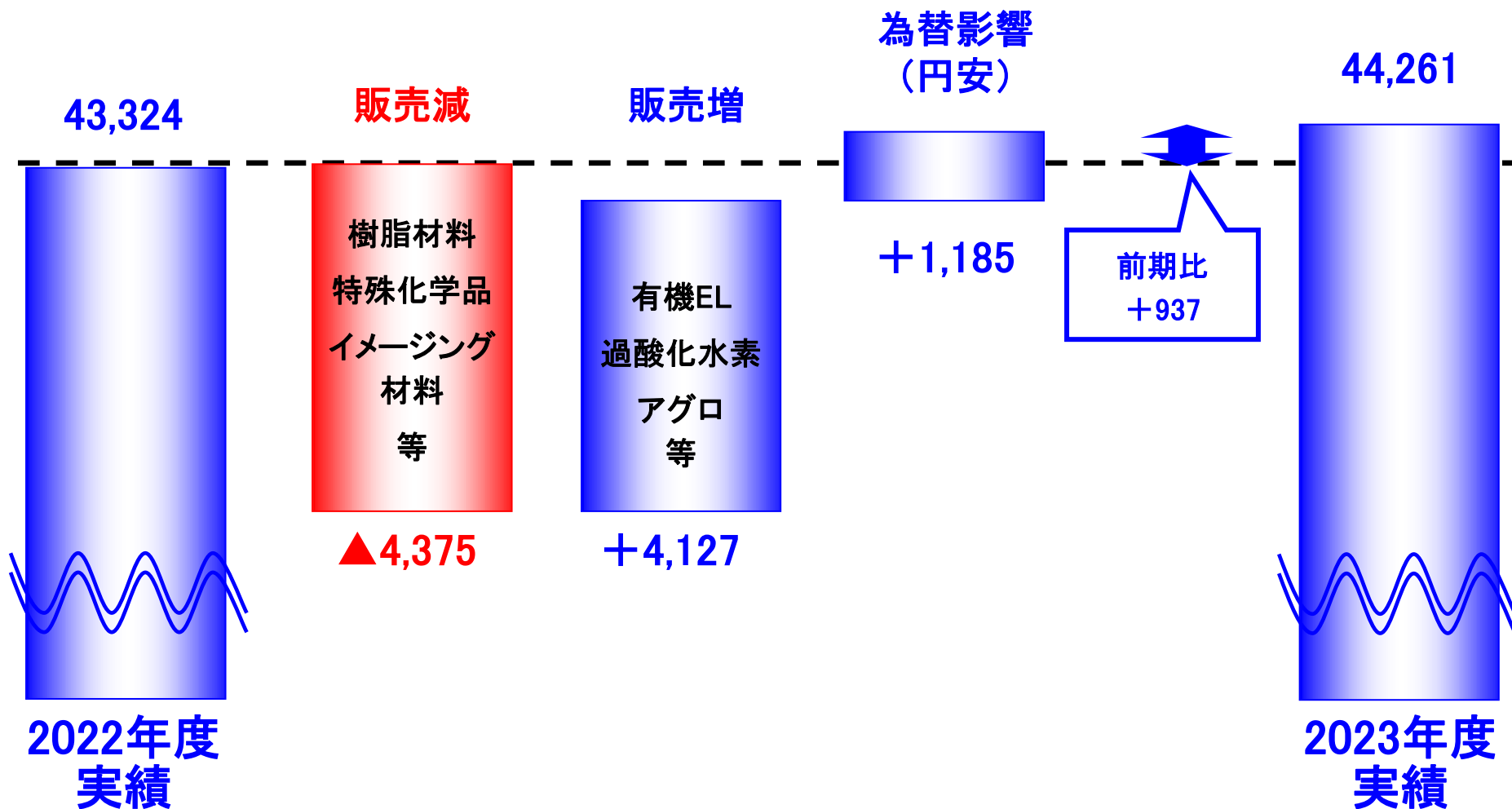
通期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2022年度	2023年度	前期比
売 上 高	43,324	44,261	+ 937
営 業 利 益	3,701	3,951	+ 250
経 常 利 益	4,211	4,711	+ 499
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,223	2,480	+ 257

為替レート \$=136.00円 \$=145.31円 \$=ドル
 W=0.1037円 W=0.1099円 W=韓国ウォン

（単位：百万円）



- ・ **売上高**は、機能性樹脂、物流関連の減少があったものの、機能性色素、基礎化学品、アグロサイエンスの増加および、円安の効果により、937百万円の**増収**
- ・ **営業利益**は、売上高の増加により、250百万円の**増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益等の増加により、499百万円の**増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、**経常利益**の増加により、257百万円の**増益**

(単位：億円)

科目	2023年 3月末	2024年 3月末	増減
(流動資産)	365	386	+20
現預金	104	129	+24
売上債権	129	122	▲7
棚卸資産	120	126	+6
その他	11	8	▲2
(固定資産)	354	424	+70
有形・無形固定資産	239	292	+52
投資有価証券	85	108	+23
その他	29	23	▲5
合計	720	811	+91

科目	2023年 3月末	2024年 3月末	増減
(負債)	221	237	+15
仕入債務	46	51	+5
有利子負債	105	93	▲11
その他	70	91	+21
(純資産)	498	574	+75
資本金	111	111	-
資本剰余金	79	79	▲0
利益剰余金	186	206	+20
その他	121	176	+55
合計	720	811	+91

通期累計

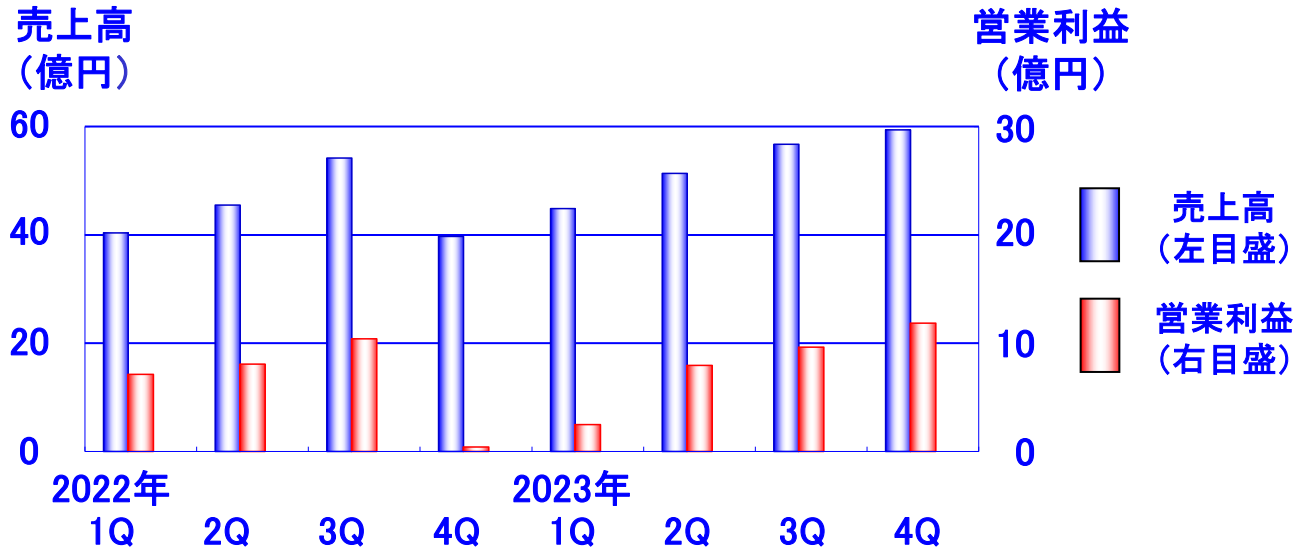
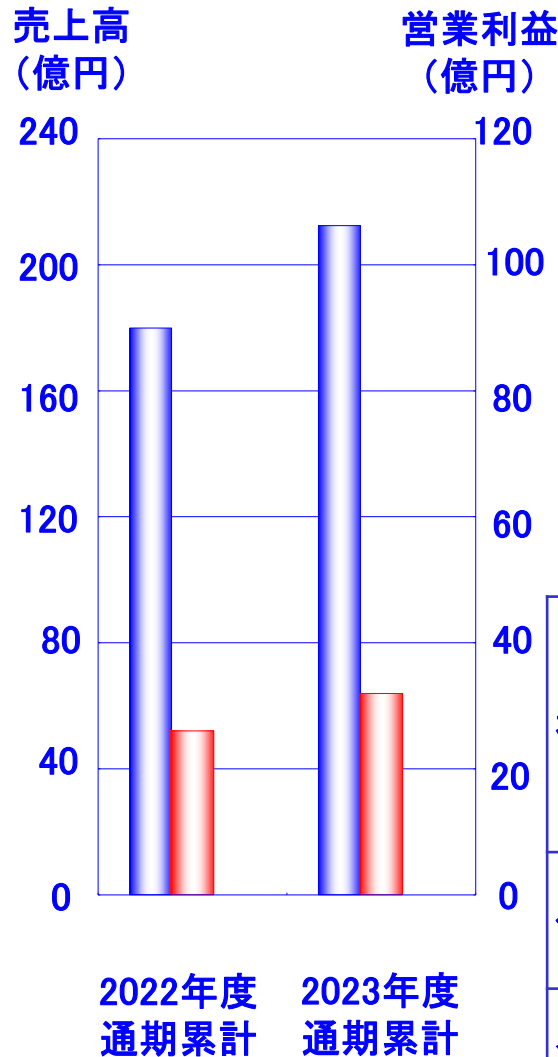
単位:百万円
 表示:百万円未満切捨

セグメント	2022年度	2023年度	前期比
機能性色素	17,990	21,238	+ 3,248
機能性樹脂	11,580	8,341	▲ 3,239
基礎化学品	7,152	7,846	+ 694
アグロサイエンス	4,628	4,940	+ 311
物流関連	1,874	1,704	▲ 170
その他	97	189	+ 92
合計	43,324	44,261	+ 937

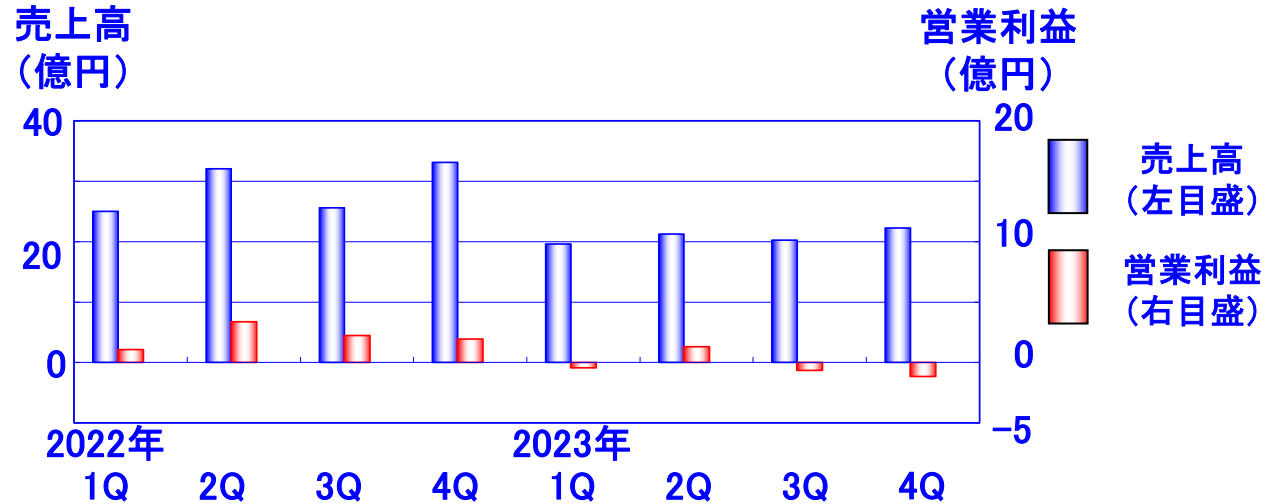
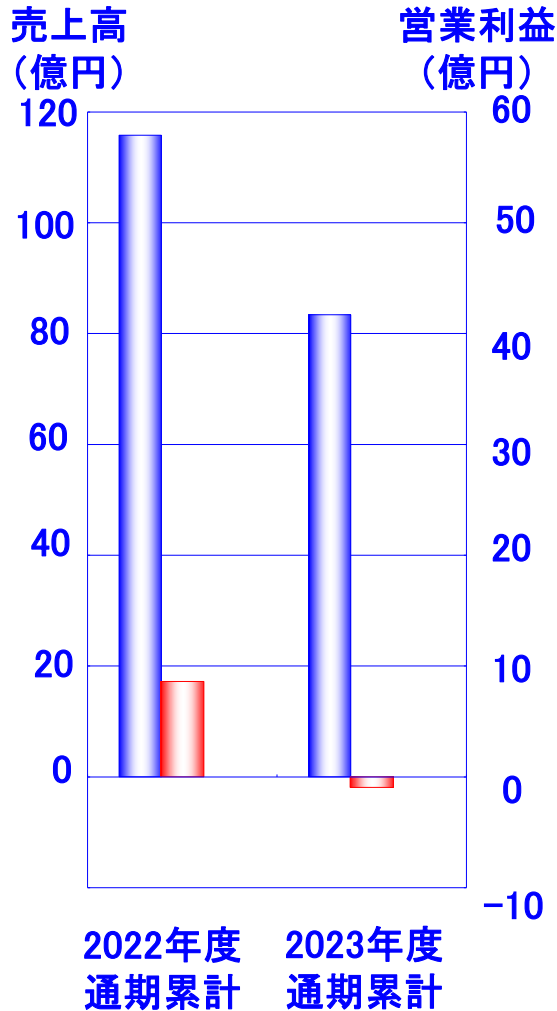
通期累計

単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

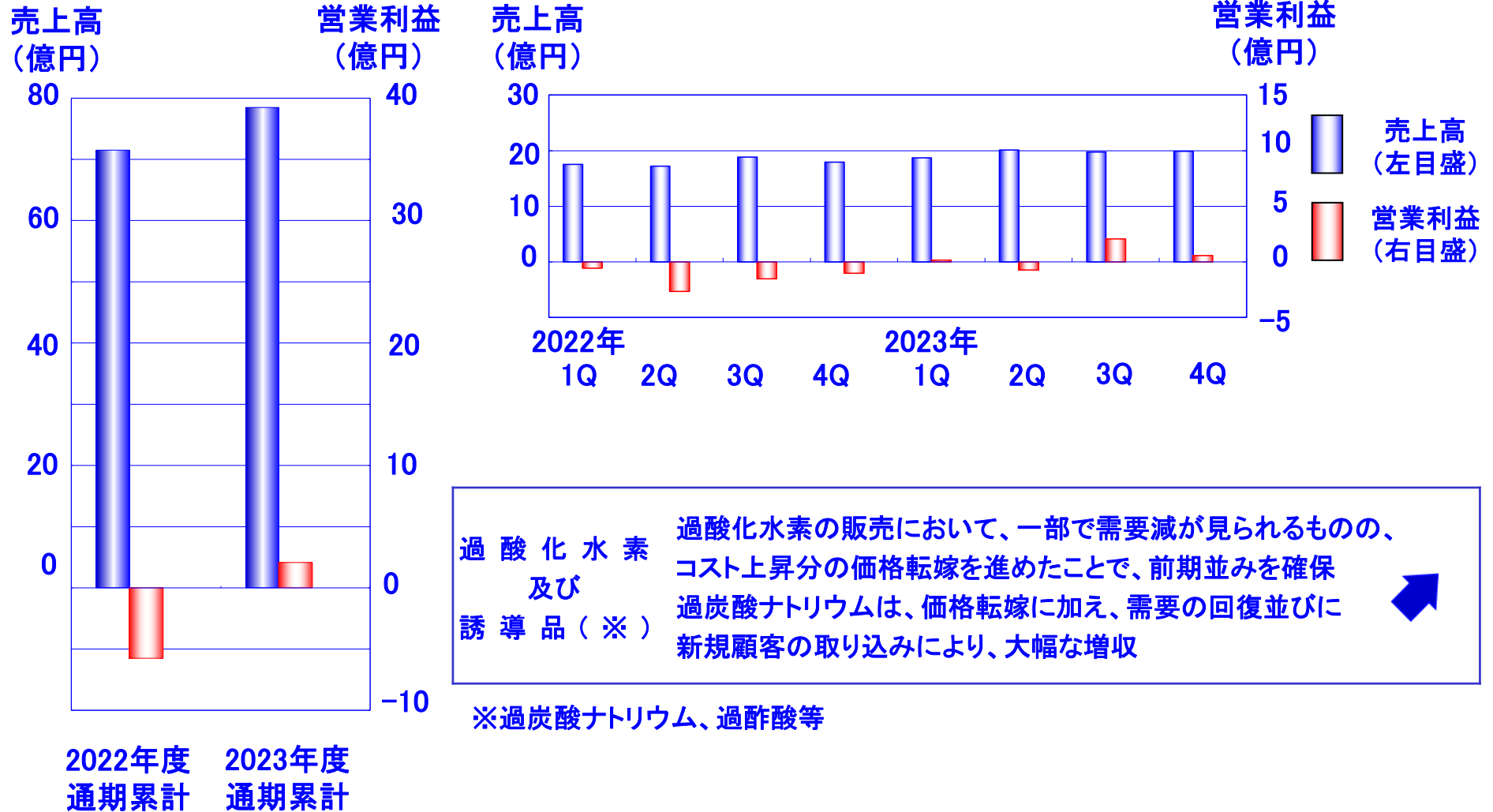
セグメント	2022年度	2023年度	前期比
機能性色素	2,602	3,197	+ 594
機能性樹脂	861	▲ 94	▲ 956
基礎化学品	▲ 575	207	+ 782
アグロサイエンス	457	376	▲ 81
物流関連	341	250	▲ 91
その他	12	14	+ 2
合計	3,701	3,951	+ 250

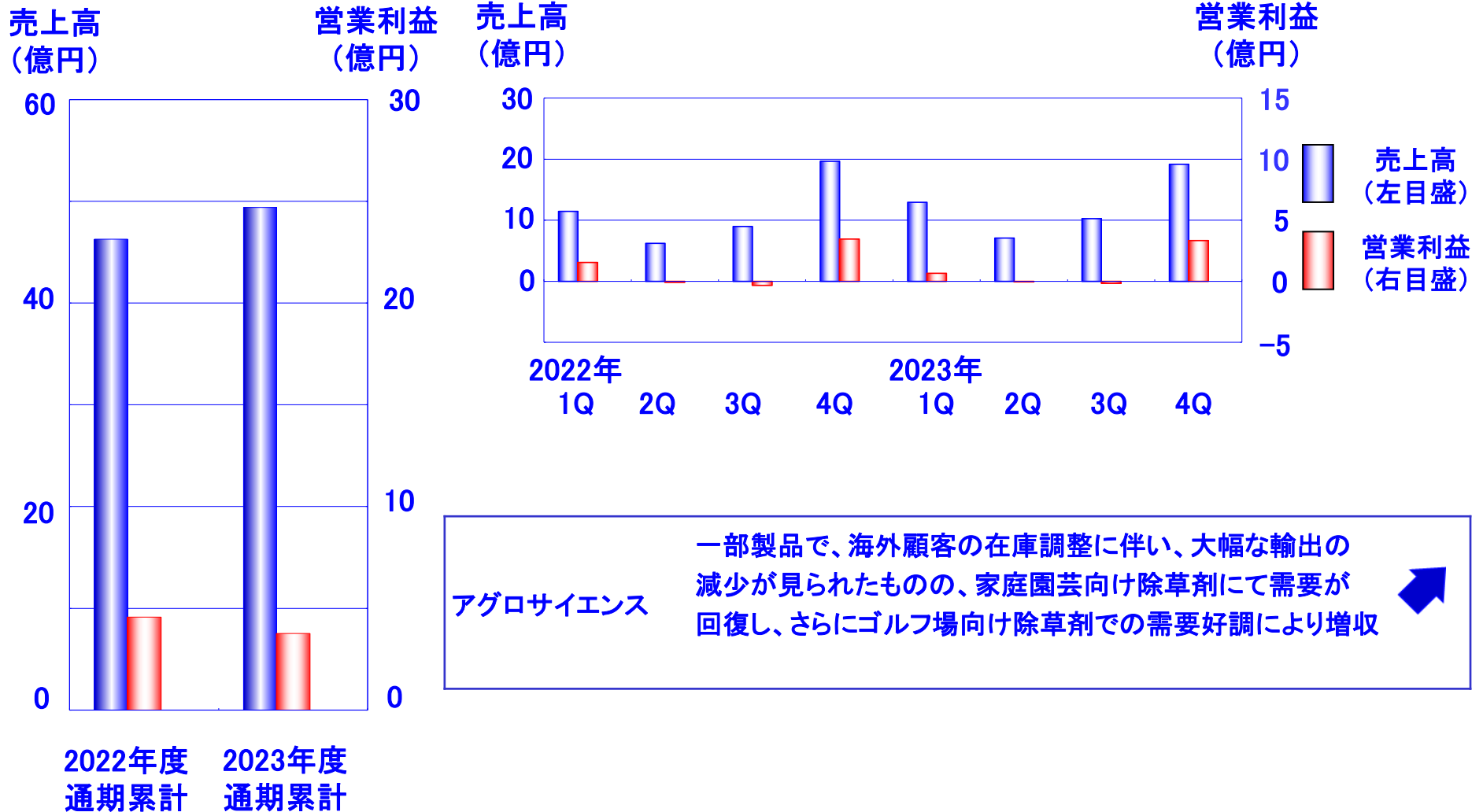


有機EL材料	当社の海外子会社におけるPCR診断キット用材料の需要が引き続き低迷しているものの、スマートフォン向けを中心とするディスプレイ分野において、有機EL材料の需要増や、為替影響による増収効果もあり、有機EL材料事業全体としては大幅な増収	▲
色素材料	繊維向け染料の海外での需要が好調に推移し、アルミ着色用染料においても、スマートフォン向けを中心とする販売増に加え価格改定を引き続き進めたこと等から、大幅な増収	▲
イメージング材料	プリンター向け材料の需要が海外を中心に引き続き低迷しており、大幅な減収	▼



樹脂材料	一部製品での終売や、海外顧客でのウレタン材料の在庫調整等の影響が続いたことで、大幅な減収	↓
特殊化学品	医薬向け及び剥離剤向けの特殊化学品事業での需要が引き続き低迷	↓
建築材料	材料販売を中心に堅調に推移し、前期並み	→



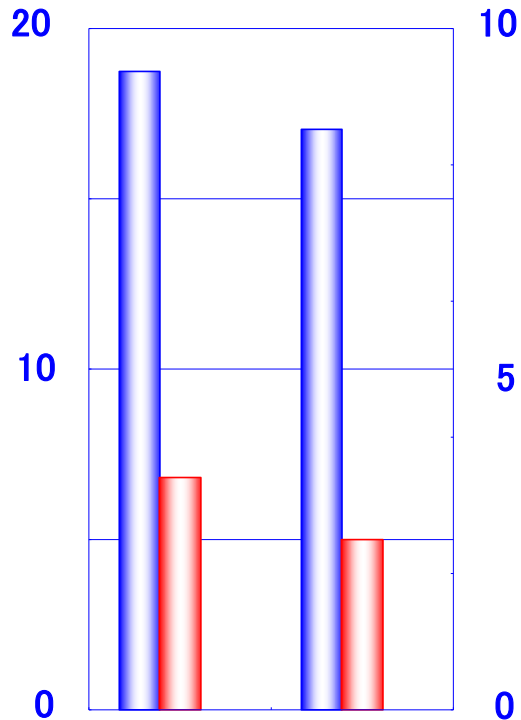


売上高
(億円)

営業利益
(億円)

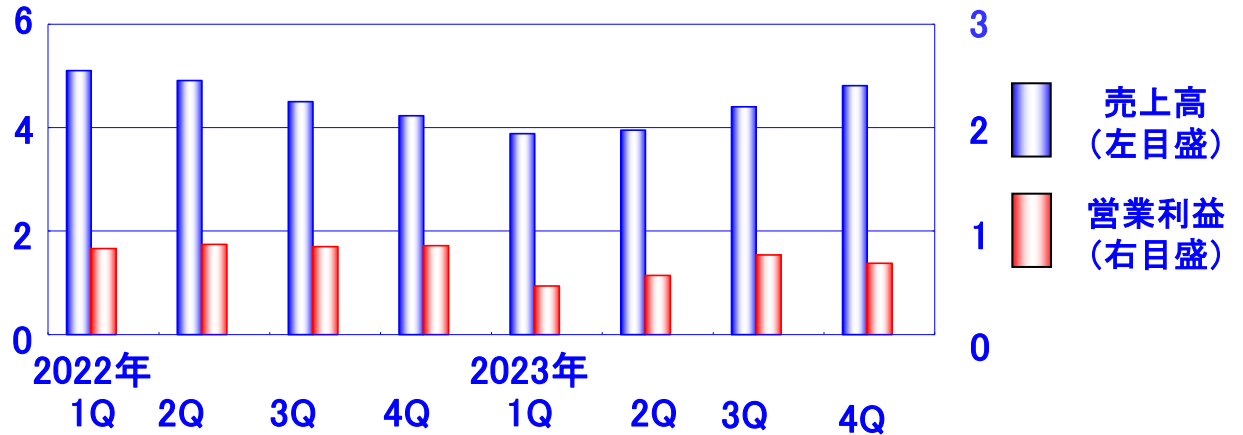
売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2022年度
通期累計

2023年度
通期累計



物 流 関 連

中国をはじめとする海外での景気減速により、輸出貨物の取り扱いが低迷し減収



連結業績予想

(単位:百万円)

科目	2023年度実績	2024年度業績予想
売上高	44,261	48,000
営業利益	3,951	4,500
経常利益	4,711	4,800
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,480	2,700

今後の見通しにつきましては、為替動向に加えエネルギー価格の高止まりや物価上昇など、経済環境は厳しい状況が継続することが予想されますが、2024年度の業績につきましては、引き続き堅調な需要が見込まれる機能性色素等の販売増等により、2023年度比では増収・増益を予想しております。

・配当予想

年間配当：85円／株

＜中間：42.5円／株、期末：42.5円／株＞

「ステークホルダーへの還元に関する方針」に基づき内部留保と株主の皆様への還元のバランスを適切に図ることとしております。

配当については、株主資本配当率(DOE)の向上を長期的な課題と捉え、且つ、安定的・継続的で適正な株主還元の実施を重視し、2024年度の配当については、2023年度比で年間10円／株の増配を予定しております。

中期経営計画「SPEED 25/30」を
スタートした2021年度以来
4年連続での増配を予想しております。

配当 (円/株)

